



各務原市市民憩いの家、公衆便所 個別施設計画

令和3年3月
(令和5年4月一部改訂)
各務原市
(観光交流課)

目次

1	個別施設計画の背景・目的等	1
	(1) 背景と目的	1
	(2) 個別施設計画の位置付け	1
	(3) 対象施設	2
	(4) 計画期間	5
2	施設の現況	5
	(1) 施設の利用状況等の把握	5
	(2) 個別施設の状態等	10
3	施設の今後の方針と改修等の優先順位付け	10
	(1) 今後の方針	10
	(2) 改修等の優先順位付け	10
	(3) 目標使用年数	11
4	長寿命化の対策内容と実施時期、対策費用	12
5	個別施設計画推進に向けた取組み	22

1 個別施設計画の背景・目的等

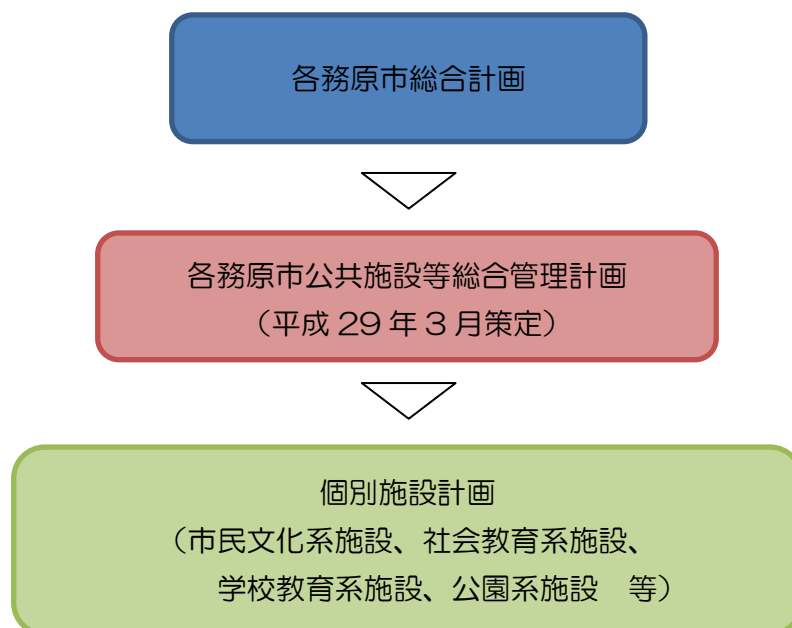
(1) 背景と目的

本市では、高度経済成長期以降の人口増加や行政需要の拡大を背景に、昭和 40 年代半ばから昭和 60 年代にかけ、様々な公共建築物やインフラ資産が集中的に整備されてきました。今後は急速に人口減少や高齢化が進行するだけでなく、これらの公共施設等の老朽化も進み、これから一斉に大規模改修や更新の時期を迎えることとなります。

このような背景のもと、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うため、所有施設等の現状や施設全体の管理に関する基本的な方針を定め、中期的な取組の方向性を明らかにするとともに、市民の安全・安心を確保し、維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図るための計画として、平成 28 年度に「各務原市公共施設等総合管理計画」を策定しました。この総合管理計画を着実に推進するためには、各施設の特性や維持管理・更新等に係る取組状況を踏まえ、具体的な対応方針を定める必要があるため、各務原市市民憩いの家、公衆便所個別施設計画を策定しました。

(2) 個別施設計画の位置付け

個別施設計画は、「各務原市公共施設等総合管理計画」の下位計画として位置づけられ、総合管理計画に記載された施設の具体的な計画となります。また、総合管理計画は市の最上位の計画である「各務原市総合計画」の下位計画として位置づけられています。



(3) 対象施設

NO.1 大分類：公園系施設、中分類：公園

NO.2～15 大分類：その他、中分類：その他

NO.	施設名称	所在地	建築年度 (西暦)	延床面積 (㎡)	構造 ※	所管課
1	市民憩いの家	蘇原北山町 1 丁目 1	1980	80.00	W	観光交流課
2	蘇原自然公園公衆便所（華和家）	蘇原北山町 1 丁目 1	1994	19.00	SRC	観光交流課
3	蘇原自然公園下段公衆便所	蘇原北山町 1 丁目 108	1997	6.69	FRP	観光交流課
4	新境川公衆便所	那加東亜町 106	1991	20.16	RC	観光交流課
5	おがせ池西広場公衆便所	各務おがせ町 7 丁目 188	1988	16.72	RC	観光交流課
6	おがせ池西新公衆便所	各務おがせ町 6 丁目 202-2	2016	26.75	W	観光交流課
7	前渡不動山公衆便所	前渡西町猿尾下 1639	1992	21.47	W	観光交流課
8	日乃出不動公衆便所（駐車場）	鶴沼大安寺町 1 丁目 83	1980	12.98	CB	観光交流課
9	日乃出不動公衆便所（尊内）	鶴沼大安寺町 1 丁目 83	不明	10.00	W	観光交流課
10	JR 蘇原駅公衆便所	蘇原瑞雲町 1 丁目 4	1999	10.60	RC	観光交流課
11	伊木山公衆便所	鶴沼字伊木山 1495-12	2005	14.93	W	農政課
12	JR 那加駅前公衆トイレ	那加本町 46-1	2016	32.76	RC	商工振興課
13	JR 各務ヶ原駅公衆トイレ	鶴沼各務原町 1 丁目 243	2020	12.72	RC	商工振興課
14	伊木の森芝生広場公衆便所	鶴沼伊木山 1492-1	2020	11.30	RC	農政課
15	伊木の森休憩棟	鶴沼伊木山 1492-1	不明	117.00	S	農政課
計				413.08		

※構造 W：木造、SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、FRP：繊維強化プラスチック造、

RC：鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造、CB：コンクリートブロック造

【対象外施設】

イベント倉庫や伊木の森倉庫は、人が常駐することもなく、小規模施設であるため、この計画では対象外の施設としています。

NO.16 大分類：行政系施設、中分類：その他行政施設

NO.17 大分類：その他、中分類：その他

NO.	施設名称	所在地	建築年度 (西暦)	延床面積 (㎡)	構造 ※	所管課
16	イベント倉庫	川島渡町広江 22	2004	150.00	S	観光交流課
17	伊木の森倉庫	鵜沼伊木山 1492-1	2020	7.70	S	農政課
計				157.70		

※構造 S：鉄骨造

(4) 計画期間

社会情勢の変化や政策動向等によって、公共施設を取り巻く環境や施設の経年劣化、疲労等の状態が時々刻々と変化するため、計画期間は10年間としますが、点検結果その他の状況を踏まえ、適宜計画を見直します。また、施設を維持していくためには、より長期的な視点が不可欠であるため、40年間の費用を算出しています。

2 施設の現況

(1) 施設の利用状況等の把握

対象施設の状況を以下に示します。なお、公衆便所については、公園、公共施設などに数多く設置されているため、類似施設の掲載はしません。

基準日: 令和2年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	1
------	---

施設名称	市民憩いの家
所在地	蘇原北山町1丁目1
施設所管課	観光交流課
施設類型(大分類)	公園系施設
施設類型(中分類)	公園
建築年度(西暦)	1980
延床面積(㎡)	80.00
構造	W造

【施設構成】

名称	構成数
和室	1
手洗い場	1
トイレ	1

現状把握	1 施設の概要						
	主に伊吹の滝発展会を中心とした蘇原地区住民の集会にて利用。休館日なし。						
	2 運営主体、管理方法等						
施設の維持、貸出しの管理: 伊吹の滝発展会							
3 類似施設(市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか)							
	類似機能の施設の有無	あり (集会場)	施設名	蘇原古市場地区 ふれあいセンター	おおよその 直線距離(m)	1,400	

施設番号	2
------	---

施設名称	蘇原自然公園公衆便所(華和家)
所在地	蘇原北山町1丁目1
施設所管課	観光交流課
施設類型(大分類)	その他
施設類型(中分類)	その他
建築年度(西暦)	1994
延床面積(㎡)	19.00
構造	SRC造

現状把握	1 施設の概要						
	蘇原自然公園(上段)来場者用のトイレとして設置。常時使用可能。						
2 運営主体、管理方法等							
修繕、清掃等: 市 設備点検: 民間事業者							

施設番号	3
------	---

施設名称	蘇原自然公園下段公衆便所
所在地	蘇原北山町1丁目108
施設所管課	観光交流課
施設類型(大分類)	その他
施設類型(中分類)	その他
建築年度(西暦)	1997
延床面積(m ²)	6.69
構造	FRP造

現状把握	1 施設の概要	蘇原自然公園(下段)来場者用のトイレとして設置。常時使用可能。
	2 運営主体、管理方法等	修繕、清掃等:市 設備点検:民間事業者

施設番号	4
------	---

施設名称	新境川公衆便所
所在地	那加東垂町106
施設所管課	観光交流課
施設類型(大分類)	その他
施設類型(中分類)	その他
建築年度(西暦)	1991
延床面積(m ²)	20.16
構造	RC造

現状把握	1 施設の概要	新境川来場者用のトイレとして設置。常時使用可能。
	2 運営主体、管理方法等	修繕、清掃等:市 設備点検:民間事業者

施設番号	5
------	---

施設名称	おがせ池西広場公衆便所
所在地	各務おがせ町7丁目188
施設所管課	観光交流課
施設類型(大分類)	その他
施設類型(中分類)	その他
建築年度(西暦)	1988
延床面積(m ²)	16.72
構造	RC造

現状把握	1 施設の概要	おがせ池来場者用のトイレとして設置。常時使用可能。
	2 運営主体、管理方法等	修繕、清掃等:市 設備点検:民間事業者

施設番号	6
------	---

施設名称	おがせ池西新公衆便所
所在地	各務おがせ町6丁目202-2
施設所管課	観光交流課
施設類型(大分類)	その他
施設類型(中分類)	その他
建築年度(西暦)	2016
延床面積(m ²)	26.75
構造	W造

現状把握	1 施設の概要	おがせ池来場者用のトイレとして設置。常時使用可能。
	2 運営主体、管理方法等	修繕、清掃等:市 設備点検:民間事業者

施設番号	7
------	---

施設名称	前渡不動山公衆便所
所在地	前渡西町猿尾下1639
施設所管課	観光交流課
施設類型(大分類)	その他
施設類型(中分類)	その他
建築年度(西暦)	1992
延床面積(m ²)	21.47
構造	W造

現状把握	1 施設の概要	前渡不動山来場者用のトイレとして設置。常時使用可能。
	2 運営主体、管理方法等	修繕、清掃等:市 設備点検:民間事業者

施設番号	8
------	---

施設名称	日乃出不動公衆便所(駐車場)
所在地	鶯沼大安寺町1丁目83
施設所管課	観光交流課
施設類型(大分類)	その他
施設類型(中分類)	その他
建築年度(西暦)	1980
延床面積(m ²)	12.98
構造	CB造

現状把握	1 施設の概要	日乃出不動来場者用のトイレとして設置。常時使用可能。
	2 運営主体、管理方法等	修繕、清掃等:市 設備点検:民間事業者

施設番号	9
------	---

施設名称	日乃出不動公衆便所(尊内)
所在地	鵜沼大安寺町1丁目83
施設所管課	観光交流課
施設類型(大分類)	その他
施設類型(中分類)	その他
建築年度(西暦)	不明
延床面積(m ²)	10.00
構造	W造

現状把握	1 施設の概要	日乃出不動来場者用のトイレとして設置。常時使用可能。
	2 運営主体、管理方法等	修繕、清掃等:市 設備点検:民間事業者

施設番号	10
------	----

施設名称	JR蘇原駅公衆便所
所在地	蘇原瑞雲町1丁目4
施設所管課	観光交流課
施設類型(大分類)	その他
施設類型(中分類)	その他
建築年度(西暦)	1999
延床面積(m ²)	10.60
構造	RC造

現状把握	1 施設の概要	JR蘇原駅利用者用のトイレとして設置。常時使用可能。
	2 運営主体、管理方法等	修繕、清掃等:市 設備点検:民間事業者

施設番号	11
------	----

施設名称	伊木山公衆便所
所在地	鵜沼字伊木山1495-12
施設所管課	農政課
施設類型(大分類)	その他
施設類型(中分類)	その他
建築年度(西暦)	2005
延床面積(m ²)	14.93
構造	W造

現状把握	1 施設の概要	伊木山来場者用のトイレとして設置。常時使用可能。
	2 運営主体、管理方法等	修繕、清掃等:市 設備点検:民間事業者

施設番号	12
------	----

施設名称	JR那加駅前公衆トイレ
所在地	那加本町46-1
施設所管課	商工振興課
施設類型(大分類)	その他
施設類型(中分類)	その他
建築年度(西暦)	2016
延床面積(m ²)	32.76
構造	RC造

現状把握	1 施設の概要	JR那加駅および名鉄新那加駅利用者用のトイレとして設置。常時使用可能。
	2 運営主体、管理方法等	修繕、清掃等:市 設備点検:民間事業者

施設番号	13
------	----

施設名称	JR各務ヶ原駅前公衆トイレ
所在地	鵜沼各務原町1丁目243
施設所管課	商工振興課
施設類型(大分類)	その他
施設類型(中分類)	その他
建築年度(西暦)	2020
延床面積(m ²)	12.72
構造	RC造

現状把握	1 施設の概要	JR各務ヶ原駅利用者用のトイレとして設置。常時使用可能。
	2 運営主体、管理方法等	修繕、清掃等:市 設備点検:民間事業者

施設番号	14
------	----

施設名称	伊木の森芝生広場公衆便所
所在地	鵜沼伊木山1492-1
施設所管課	農政課
施設類型(大分類)	その他
施設類型(中分類)	その他
建築年度(西暦)	2020
延床面積(m ²)	11.30
構造	RC造

現状把握	1 施設の概要	伊木の森芝生広場の公衆トイレとして設置。常時使用可能。
	2 運営主体、管理方法等	修繕、清掃等:市 設備点検:民間事業者

施設番号	15
------	----

施設名称	伊木の森休憩棟
所在地	鶺沼伊木山1492-1
施設所管課	農政課
施設類型(大分類)	その他
施設類型(中分類)	その他
建築年度(西暦)	不明
延床面積(m ²)	117.00
構造	S造

現 状 把 握	1 施設の概要	伊木の森芝生広場の休憩棟上屋。商工振興施設時代のバーベキュー広場上屋を流用。
	2 運営主体、管理方法等	修繕、清掃等：市 設備点検：民間事業者

(2) 個別施設の状態等

定期点検結果や現地調査の結果、現在、施設は概ね適切に管理されており、著しい劣化箇所や設備の損傷は見受けられませんでした。今後、設備や各部位が耐用年数に達した時点で更新をしていく予定です。

3 施設の今後の方針と改修等の優先順位付け

(1) 今後の方針

公共施設等総合管理計画では「多くの人々が往来する駅や観光地には、公共サービス提供の観点から、公衆便所や駐輪場などを整備していますが、今後も、施設の利用状況を踏まえ、継続して公共サービスを提供する必要がある場合には、計画的な設備機器の更新と修繕等により、長寿命化を図ります。」(公共施設等総合管理計画 P35 参照) との方針を示しており、本計画においてもその考え方にに基づき、今後の施設運営を図っていきます。

また、施設の更新の際には、廃止・撤去等も視野に入れて検討していく必要があります。

(2) 改修等の優先順位付け

施設の劣化が著しいものを優先に改修、更新していくこととしますが、劣化状況が同程度の場合は、利用者数の多い施設を優先します。

また、緊急性を要する案件については最優先に改修・修繕を行います。

(3) 目標使用年数

施設の目標使用年数は、「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）を参考にして、以下のように設定します（表 1、2 参照）。

○鉄骨鉄筋コンクリート、鉄筋コンクリート造・・・65 年

蘇原自然公園公衆便所（華和家）等は、その時々地域の状況や他の施設の整備状況等によって、施設機能の見直しや存廃の判断が必要になる可能性が比較的高い施設であるため、「建築物の耐久計画に関する考え方」における目標耐用年数の範囲の中間値を採用し、65 年とします（学校、官庁の用途を参照）。

○木造、繊維強化プラスチック造、コンクリートブロック造・・・50 年

木造、繊維強化プラスチック造及びコンクリートブロック造は、施設の延命工事が容易でなく延命ができない、あるいは延命工事をしたとしても、長期の延命は望めない可能性もあるため、早めに更新を行うことを視野に入れ、「建築物の耐久計画に関する考え方」における目標耐用年数の範囲の最小値を採用し、50 年とします（学校、官庁の用途を参照）。

ただし、目標使用年数に関わらず、日常の点検結果や老朽化の進行状況等を踏まえ、必要に応じて躯体調査を実施するなどして、更新時期を判断することとします。

表 1. 建築物全体の望ましい目標耐用年数の級

用途	鉄筋コンクリート造・ 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
	高品質 の場合	普通品質 の場合	重量鉄骨		軽量鉄骨		
			高品質 の場合	普通品質 の場合			
学校 官庁	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 60 以上
住宅 事務所 病院	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上
店舗 旅館・ ホテル	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上
工場	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上

Y₀〇〇：目標となる耐用年数がある範囲で示した時の「級」を表す。

表2. 目標耐用年数の級の区分の例

級 \ 目標耐用年数	代表値	範囲	下限値
Y ₀ 100	100年	80 ~ 120年	80年
Y ₀ 60	60年	50 ~ 80年	50年
Y ₀ 40	40年	30 ~ 50年	30年
Y ₀ 25	25年	20 ~ 30年	20年

4 長寿命化の対策内容と実施時期、対策費用

対策費用算出にあたっての前提条件

○修繕や改修を実施することによって、建物の長寿命化を図っていきますが、「3 施設の今後の方針と改修等の優先順位付け (3) 目標使用年数」で設定した目標使用年数が経過した時点で、更新（建替え）をすることとして費用を算出しています。

○日乃出不動公衆便所（尊内）は、建築年度が不明のため、日乃出不動公衆便所（駐車場）と同年度に更新すると仮定します。

○更新（建替え）予定年度から遡って5年間は、施設や設備の改修を行わないこととします。

○主要構造部（屋根、壁）の改修及び主な設備（空調、給排水衛生設備、浄化槽設備）の改修について、それぞれ改修単価及び耐用年数を設定し、概算工事費を算出しています。

○各部位や各設備の改修単価は、実勢価格や過去の工事履歴等を参考に設定していますが、工事実施前には施設の詳細な調査等が必要であり、算出した対策費用と異なる場合があります。

○各部位や各設備の耐用年数は、次表を標準としています。ただし、対策費用の平準化や改修時期の調整等により、これによらない場合があります。

種 別	耐 用 年 数	種 別	耐 用 年 数
屋上防水	20 年	屋根（塗装）	7 年
屋根（瓦）	20 年	外壁（塗装・建具シーリング含む）	15 年
空調（個別式）	15 年	給排水衛生設備	25 年

○概算工事費には、工事費のほか設計委託料、監理委託料を含みます。

○維持補修費用（施設を維持するために要する例年の修繕料）や保守点検費用（設備等を正常な状態に保つために要する定期点検費用）は、1 施設あたり 1,000 千円以上の場合のみ計上します。

○施設自体を維持するために要する費用以外の業務委託料（指定管理料、清掃、除草等）は計上していません。

各施設毎の長寿命化に係る対策内容と実施時期、費用は次頁以降のとおりです。ただし、対策の実施時期、内容は財政状況や政策動向等によって変更する可能性があります。

今後 40 年間における対象施設の対策費用の合計は 166,213 千円となります。

【対策費用算定表】(総括表)

計画期間	計画期間中に要する費用	1年あたり費用
40年	166,213千円	4,155千円

(単位:千円)

	建築年度 (西暦)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	合計				
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41					
市民憩いの家	1980					9,811						26,400															947						7,456				1,408							46,022		
蘇原自然公園 公衆便所(華和家)	1994					2,575							105							105	12,365					1,876				334			105		366							6,840	24,671			
蘇原自然公園 下段公衆便所	1997					215	118					37			5,250				37	90								2,408										37						8,192		
新境川公衆便所	1991			9,900																																								9,900		
おがせ池西公衆便所	1988					2,464														337						1,789				338					6,019									10,947		
おがせ池西新公衆便所	2016																	3,342															378						2,493					6,213		
前渡不動山公衆便所	1992		9,107																382						7,729														382					17,600		
日乃出不動 公衆便所(駐車場)	1980			485		1,400														71							71	180					171	71					228			71	7,421			
日乃出不動 公衆便所(尊内)	不明					539															55						55	176					132	55					176			55	4,843			
JR蘇原駅公衆便所	1999																			286	4,163						687	286			536				286		4,163				286			10,979		
伊木山公衆便所	2005						1,391																					1,532												5,375				8,702		
JR那加駅前公衆トイレ	2016				330								330	375							793	330				577			330				330						793		330			4,893		
JR各務ヶ原駅公衆トイレ	2020									127							127	216											224		127				216					127					1,595	
伊木の森芝生広場公衆便所	2020									62							62	349					149	62						62				349						62					1,157	
伊木の森休憩棟	不明																1,539																		1,539											3,078
合計		0	9,107	10,385	330	17,004	1,509	0	189	0	0	35,730	480	0	5,250	189	1,888	4,733	653	4,821	12,365	149	1,070	7,729	2,476	2,492	2,605	955	2,408	1,063	334	9,344	1,513	231	10,182	366	7,009	3,690	382	616	6,966	166,213				

施設番号	2
施設名	蘇原自然公園公衆便所(華和家)
担当部課	産業活力部 観光交流課

建築年度	1994
構造	SRC
法定耐用年数	50年(2044)
目標使用年数	65年(2059)

計画期間	計画期間中に要する費用	1年あたり費用
40年	24,671千円	617千円

(単位:千円)

	耐用年数	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	合計							
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41								
屋上防水	20					251																			251																					502			
屋根(塗装)	7					105							105							105						105									105											525			
屋根(瓦)	20					1,520																				1,520																					3,040		
外壁(塗装)	15					365																																					366				1,096		
給排水衛生設備	25					334																																						334				668	
浄化槽設備	-																																															12,000	12,000
更新	65																																														6,840	6,840	
合計		0	0	0	0	2,575	0	0	0	0	0	0	105	0	0	0	0	0	0	105	12,365	0	0	0	0	1,876	0	0	0	0	334	0	0	105	0	366	0	0	0	0	0	6,840	6,840		24,671				

施設番号	3
施設名	蘇原自然公園下段公衆便所
担当部課	産業活力部 観光交流課

建築年度	1997
構造	FRP
法定耐用年数	24年(2021)
目標使用年数	50年(2047)

計画期間	計画期間中に要する費用	1年あたり費用
40年	8,192千円	205千円

(単位:千円)

	耐用年数	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	合計									
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	R35	R36	R37	R38	R39	R40	R41										
屋上防水	20					88																																											88		
屋根(塗装)	7					37							37																																				37	148	
外壁(塗装)	15					90																																												90	180
給排水衛生設備	25																																																118	118	
浄化槽設備	-																																																5,250	5,250	
更新	50																																																	2,408	2,408
合計		0	0	0	0	215	118	0	0	0	0	37	0	0	5,250	0	0	0	37	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,408	0	0	0	0	0	0	0	37	0	0	0	0	0	0	0	8,192					

5 個別施設計画推進に向けた取組み

○関係所管課との連携

公共施設マネジメントは施設所管課が単独でできるものではないため、今後の施設の複合化・集約化などの議論や施設点検結果に基づく対策への助言など、庁内で横断的な連携を図り、計画の推進に向けて取り組んでいきます。

○点検体制の構築

施設の適切な管理を推進するため、日常的な管理・点検のほか、法定点検を確実に実施するとともに、これらの点検から得られた各種点検結果のデータを整理し、施設の情報の蓄積を積極的に行っていくこととします。

○進捗管理の徹底

本計画の進捗確認のため、個別施設ごとの施設状態や計画に基づく実施状況を継続的に把握することとします。また、対策の進捗状況を踏まえ、計画期間内であっても、社会情勢や政策動向等、市民のニーズの変化に対応し、適宜、計画内容の見直しを行います。見直しの際には、本市の最上位計画である総合計画や上位計画である総合管理計画との整合性を確保した上で適切に行うこととします。